

もりふれ倶楽部通信 NO.49

不思議な植物「タケ」

NPO法人もりふれ倶楽部 理事

池田 友紀



昨年からもりふれ倶楽部の看板イベント、「里山自然塾」にて各テーマに沿った内容で講和をさせていただきます。そのテーマはツキノワグマであったり、スギ・ヒノキであったり、キノコであったり・・・と、多岐にわたります。その中のひとつ、「タケ」についてのテーマがありました。

「竹は身近だし、今までもよく工作の材料として使ってきたから少し調べればすぐできるだろう。」くらいの軽い気持ちで調べにかかると・・・おや？タケについて記載されている図鑑がない！？という壁にいきなりぶちあたりました。

樹木図鑑にもなく、野草図鑑にも載っていない。ならば大判の植物図鑑はどうだろう、と調べてみても、ササ類が多少記載されている程度でタケに関する記述はなし。タケの種類や生態を調べる以前に、タケに関する資料をさがすのに一苦労することになりました。

そんな中いくつかの専門書と出会うことができ、タケについて調べていくと、知らなかったことだらけの不思議な植物であることがわかってきました。

図鑑をさがしてみつからないのもそのはず、竹は「木にもあらず、草にもあらず」として、タケ科の本格的な分類学的研究がなされるまで第3群として扱われ、木本の図鑑に載せるわけにもいかず、かといって草本の図鑑に載せることもできなかつたのでしょう。

共通点もあるけれど、異なる点もある。木だという研究者もいれば草だという研究者もいる。ひとくくり分類することができないので、木でも草でもない独立的な植物として、扱いがあいまいなまま今日に至っているようです。

表 1 タケ類植物と草木の相違点

	同じ点	異なる点
草	生長が早い 二次肥大成長をしない	1年～数年で枯れる 節がない
木	多年生 幹がかたくなる	毎年太ったり伸びたりする でこぼこした樹皮がある 枝が不規則にでる

さらに、植物の分類体系においてイネ科から独立させた分類群にするかどうかは研究者によって異なるようです。

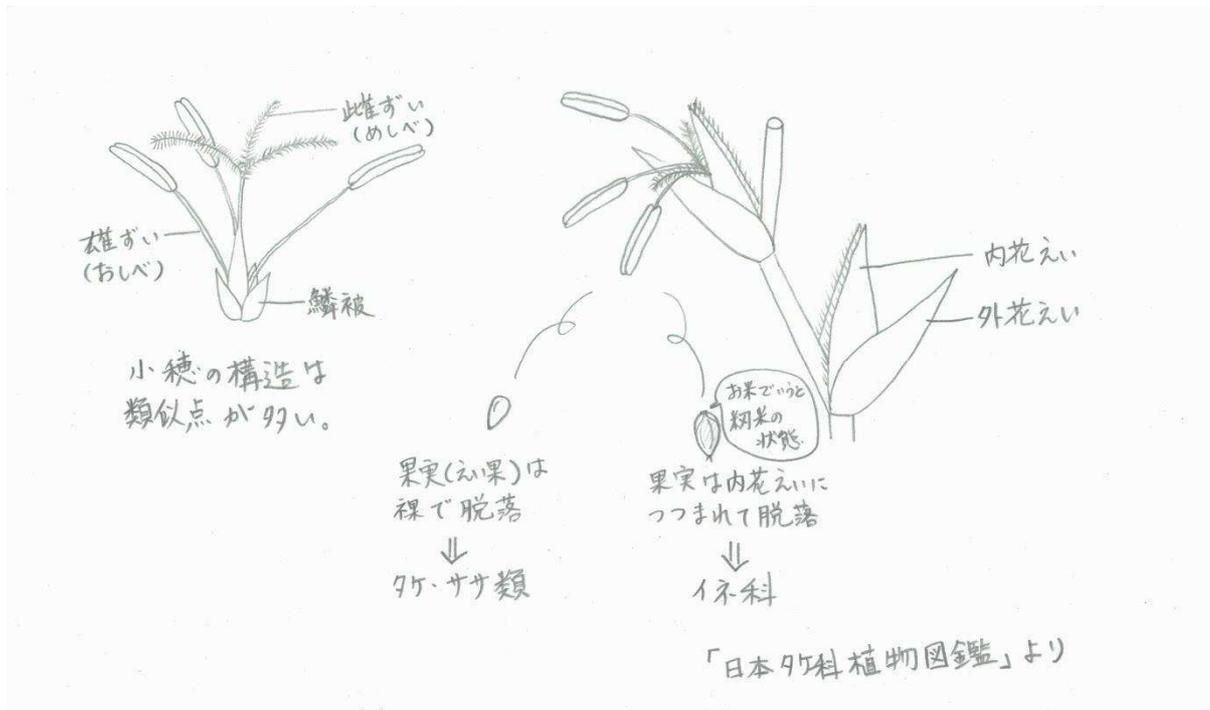


図 1 小穂の構造

図 1 のように、栄養器官（果実）の特殊性をもっとも重視する学者は「タケ科 Bambusaceae」として独立した分類を採用し、それに対して花を分類の基準とする建前からイネ科のなかの一群「イネ科タケ亜科 Bambusoideae」あるいは「イネ科タケ族 Bambuseae」とする学者もいます。今後、分類学の研究が進むとともにタケ類の分類も進展していくものと思います。

ちなみに、日本植物分類学会のグリーンリスト最新版ではタケ・ササ類は「イネ科」として記載されています。

さて、ここからタケの特徴を少し取り上げてみたいと思います。

もしタケの特徴は？と聞かれたらほとんどの人が「生長が早い」と答えるのではないのでしょうか。春先、ちょこんと土の中から出てきたタケノコが、数日後には自分の背丈より高くなっている！という経験が、タケノコ採りをしたことのある人ならあると思います。漢字の「筍」は「一旬にして竹になる」という意味からきているのもうなずけます。

このタケの生長の早さは、タケにみられる節にあります。通常、植物の生長点は幹や枝の先端部分しかありませんが、竹は節毎に、生長点を持っています。たとえば、生長前のたけのこに 20 の節があれば、20 の節それぞれが毎日ほぼ同じ長さで伸びていくのです。「たたんである提灯を広げる」というと、イメージが付きやすいかと思います。

そしてこの節には 1 枚ずつ皮がつき、生長するにしたがってはがれおちていきます。この、竹の皮がおちるもの（早落性）をタケ、皮がいつまでもついているもの（宿存性）をササとして便宜上、分けられています。この分け方が提言される前は、大型のものをタケ、小型のものをササとして分けていたので、「オカメザサ」というタケや「メダケ」というササもあり、少々ややこしいものもあります。

タケの種類はどれくらいか？と調べてみても、分類が確立されていないためか、日本では 40 種～600 種と、学説によって大きくその数が異なります。世界では 1,200～1,400 種があるとされており、アジアの温帯・熱帯地域に多く分布しています。

私たち日本人にとってなじみ深いタケは「モウソウチク」、「マダケ」、「ハチク」などがあります

が、これらはすべて中国原産で、竹材利用や食用のために 1650 年から 1700 年ごろ、移入されました。(マダケは、日本原産の可能性もあるそうです。)

このように「タケは中国原産」というイメージが強く、恥ずかしながら私も調べるまでは日本在来のタケはないものと思っていました。ところが、縄文時代の遺跡からタケを編んだかごやざるが発見されているほか、日本書紀にもタケが使われていた記録があることから、日本在来のタケがあり、移入以前から利用されてきたことがうかがえます。

「日本タケ科図鑑」によると、日本原産とされるタケは 7 種掲載されており、特筆すべきなのは島根県にしかない特産種のタケがあることです。「インヨウチク(陰陽竹)・*Hibanobambusa tranquillans*」と呼ばれるそのタケは 1941 年に安来市伯太町の比婆山で発見・報告され、昭和 47 年に島根県の天然記念物に指定されています。高さ 3~4m とやや小型で、マダケのような稈(茎)にクマザサのような葉をつける、竹と笹の中間のような特徴をもったタケです。天然記念物なので、もちろん採集することはできませんが、島根県民たるもの、ぜひ一度はこのタケを観察し、世界中でここでしか見ることのできない貴重なタケなんだ! という認識をもっていたいただければと思います。(とはいうものの、私もまだ見たことがありません……。近いうちに観察に行きたいと思えます。)



図 2 インヨウチク

出典：森林総合研究所 関西支所 HP より

かつて人々が自分たちの集落にタケを移植して竹林をもち、食用としてだけでなく、日常生活のあらゆるところに活用し、生活や文化を自分たちの手で築いてきた身近な植物であるタケ。このタケがあったからこそ、たとえば「竹取物語」のような文学作品から、「茶の道具」による茶道の文化、また「七夕祭り」のような行事から、「竹馬」、「竹トンボ」、「ササ船」などのあそびに至るまで、日本独特の文化が数多く生み出されてきました。

そんなタケも昨今は放置竹林による森林荒廃が問題となり、各地で対策が講じられています。個人でできることは限られてきますが、竹林問題に取り組んでいる組織や団体を応援し、積極的にイ

ベントや作業に参加することで問題解決の一助を担えることにつながりますので、今後も、もりふれ倶楽部の活動をよろしくお願ひします。

身近であるがゆえに無関心、あえてじっくり観察したり生態を調べたりすることもなく、知ったつもりになっていたことを今回思い知ることになったタケですが、「不思議でおもしろい植物」として今後も注目しつつ、多くの人に紹介していきたいと思ひます。

平成28年度 もりふれ倶楽部の歩み

5月14日(土) 森林ボランティア(楽山公園)

松江市楽山公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、松江環境市民会議のメンバーと竹の整備を行いました。

メンバー 野々村俊成、穂井田頼、別木健一、内田百合子、安倍久
竹田正彦、藤田健一、宇矢弘、滝川麻衣、福岡茂明
芦原正文、野田真幹



5月15日(日) ジョイメイトしまね対応

ふるさと森林公園において、(一財)島根県東部勤労者共済会 ジョイメイトしまね主催、「里山の野草や山菜を食体験」の企画運営をさせていただきました。参加者23名は、林業技士の野田真幹氏から森の話を聞いたあと、森林インストラクターの、中村正志氏、野々村俊成氏等と、食べられる植物の話を聞きながら園内を散策しました。帰ってから奥出雲産の山菜の解説を聞き、森林インストラクターの藤原人美氏より調理方法を聞き、山菜の天ぷらを揚げながら、筍ごはん、ウドのすまし汁等をおいしくいただきました。指導 野々村俊成、中村正志、野田真幹、藤原人美、宮崎徳子

5月15日(日) 奥出雲町立阿井小学校対応

奥出雲町立阿井小学校全校児童60名に対して、森林教室をおこない、島根県森林インストラクター野田真幹氏「森林保全の大切さ」をテーマとした話と、その後、島根県森林インストラクター等により「木切れ工作」の指導を行いました。個性あふれる動物等がたくさん作成されました。

指導 野田真幹、野々村俊成、内田百合子、野田あや子



5月17日(火) しまね森づくり Kommission 出前講座6(波佐小学校)

浜田市立波佐小学校において、5,6年生6名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」、「和紙作り」、「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、滝川麻衣

5月19日(木) しまね森づくり Kommission 出前講座7(掛合小学校)

雲南市立掛合小学校において、5年生26名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「飾り炭作り」、3年生27名に対して「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」、4年生28名に対して「森林の大切さ」の講義と「和紙作り」



の指導を行いました。 指導 野田真幹、野々村俊成、宮崎徳子

5月20日(金)しまね森づくりコミッション出前講座松8(玉湯中学校)

松江市立玉湯中学校において、3年生48名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、滝川麻衣、宮崎徳子



5月22日(日)第1回県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座 第1回「春の自然の恵みでおいしい憩いの1日を過ごす」を実施しました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、藤原人美

5月22日(日)第2回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第2回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志



5月23日(月)出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース37名に対して、環境の授業の中で、島根県森林インストラクターの野々村俊成氏の人生談の話と竹トンボ作りの指導を行いました。

指導 野々村俊成、宮崎徳子



5月26日(木)しまね森づくりコミッション9(志学中学校)

大田市立志学中学校において、1年生~3年生10名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



5月28日(土)森林ボランティア(布部小学校)

安来市立布部小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備を行いました。

メンバー 別木健一、野々村俊成、竹田正彦、藤田健一、橋本守庸、中村正志
野田真幹

5月29日(日)松江市楽山公園整備

楽山公園において、松江市からの委託事業の中で、市民参加の楽山公園整備を行いました。事前に倒された遊歩道近くの枯れ木をみんなの力を合わせてきれいに片付けました。

メンバー 別木健一、野々村俊成、土山幸述、安達宏史、安倍久、中村正志、橋本守庸、内田百合子
藤井礼子、野田真幹



5月30日(月)しまね森づくりコミッション出前講座10

浜田市立第2中学校1年生54名に対して、「森林保全の大切さの講義」と「ネイチャーゲーム」の指導を午前・午後2交替で故栗栖誠氏の山林で実施しました。

指導 野田真幹、池田友紀

5月31日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 11 (口羽小学校)

邑南町立口羽小学校において、全校児童31名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「樹木観察」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀



6月1日(水)しまね森づくり Kommission 出前講座 12 (玉湯小学校)

松江市立玉湯小学校特別支援学級11名に対して「木切れ工作」の指導を行いました。 指導 福岡茂明、藤原人美

6月4日(土) 森林ボランティア (江津東小学校)

江津市立江津東小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、植樹から数年下刈りされることなく放置された植樹地の2年目の下刈りを行いました。

メンバー 野々村俊成、内田百合子、豊田真樹子、橋本守庸、野田真幹



6月5日(日) 第2回里山自然塾

第2回里山自然塾「里山の恵み草木茶と笹巻き」を参加者30名で実施させていただきました。

講師 野々村俊成、中村正志、池田友紀

6月6日(月)しまね森づくり Kommission 出前講座 13 (八雲中学校)

松江市立八雲中学校1年生70名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、宮崎徳子



6月6日(月)松江市立出雲郷幼稚園、保育園対応

松江市立出雲郷幼稚園、保育園の先生たち18名に対して、安全に子どもたちと遊べるように、リスク管理(危険動植物)の話と、うぐいす山にて、植生についての実地研修を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀

6月7日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 14 (道川小学校)

益田市立道川小学校において、4年生2名、6年生2名に対して、「森林保全の大切さ」の講義を行った後、伐採後の方が更新の新芽を見学にいきました。

指導 野田真幹、滝川麻衣



6月8日(水)しまね森づくり Kommission 出前講座 15 (都茂小学校)

益田市立都茂小学校において、1,2年生11名に対して、「森林保全の大切さ」の話と「木切れ工作」の指導、3,4年生14名に「森林保全の大切さ」の話と「樹木観察」の指導、5,6年生15名に「森林保全の大切さ」の話と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、浅浦徹、高濱実樹恵





6月10日(金)しまね森づくり Kommission 出前講座 16 (桜江小学校)

江津市立桜江小学校において、4年生18名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」、「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、池田友紀

6月11日(土) 第3回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第3回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

6月11日(土)、12日(日) 益田市安全作業技術研修

山林所有者等を対象とした益田市主催の「安全作業のためのチェーンソー技術研修」の企画・運営を行いました。

コーディネイト 野田真幹 講師 遠藤正資、滝川麻衣 他
スタッフ 世良律子、服部恵子



6月13日(月) み~もスクール 第1回西小学校

雲南市立西小学校4年生32名に対して、第1回み~もスクール、学校林での樹木学習の指導と講義を行いました。

指導 野々村俊成、中村正志、野田真幹、福岡茂明、服部恵子、藤原人美

6月16日(木) み~もサマースクール (母衣小学校)

島根県み~もサマースクールの一環として、松江市立母衣小学校の児童19名と先生8名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフト体験等の指導をおこないました。

指導 中村正志、野々村俊成、戸谷広子、森下美津子、福岡茂明、妹尾明美、内田百合子、藤原人美



6月19日(日) 第1回楽山公園再生イベント

松江市公園緑地課と協働で、第1回「楽山公園再生」普及啓発事業を実施しました。参加者33名は、2班に分かれ、楽山公園で自然観察会と竹焼き米粉パンづくり・森のお茶会(クロモジ茶)を交替で楽しみました。

スタッフ 野々村俊成、中村正志、野田真幹、福岡茂明、三枝共子、宮崎徳子

6月22日(水) 緑の少年団活動推進事業 (赤屋小学校)

安来市立赤屋小学校1,2年生15名に対して、2,3時間目に、学校林において樹木学習の指導を行い、4時間目は幼稚園の年長児童4名が加わり、木の実工作の指導をおこないました。

指導 野々村俊成、中村正志、福岡茂明、藤原人美



もりふれ倶楽部今後の予定 2016 8月～11月

注．前回の予定表から変更があるものもあります！

8月20日(土)9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合
自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

8月20日(土)10時～15時 「森林ボランティア1日限りの作業班：江津東小・下刈り」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・草刈り機・手鎌等持参ください。

集合場所～江津東小学校駐車場

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

8月21日(日)10時～15時 県民の森里山の憩い講座

参加募集中：参加費500円 場所：県民の森木工館 定員20名(申し込み順)
サクラの枝で台座をつくり、板に木の実で楽しい飾り付けをして掲示板を作ります。

8月27日(土)13時～28日(日)12時

森林を守ろう!山陰ネットワーク会議10周年記念イベント「大山へ集まろう!」

場所：米子市緑水園 大懇親会は会員無料。楽しい交流イベントも予定。

参加費：緑水園の宿泊・翌日の朝食の実費 米子市街から無料送迎バスも検討中

参加者募集中 宿泊の有無を記載の上、もりふれ倶楽部 事務局へお申込み下さい

9月3日(土)10時～15時 森林インストラクター部会運営イベント

別木氏・森下氏の企画イベントです。竹で灯明を作り、しかるべき場所で飾るようです。

たくさんの方の参加をお待ちします。

参加者募集中 参加費無料 昼食支給 会員イベントのため、会員と参加会員が同伴できる方のみ参加できます。

9月4日(日)10時～15時 第5回 里山自然塾「竹焼き米粉ケーキとクロモジを楽しむ!」

参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食 定員20名(申し込み順)

9月6日(火)と7日(水)両日とも10時～15時 平日ですが「森林ボランティア1日限りの作業班：雲南市立西小学校いわくまの森遊歩道と広場整備」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェンソー・手鋸・手鎌等持参ください。

集合場所～雲南市立西小学校駐車場

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

9月10日(土)13時～11日(日)15時

島根県森林インストラクター等スキルアップ研修 ふるさと森林公園学習展示館
佐藤仁志氏(メイン講師)が原始紙漉きのノウハウのすべてを伝授します!

参加者募集中:参加費 予定 10,000円(宿泊・懇親会・食費等を含む)

もりふれ倶楽部は、しまね森林体験活動サポートセンターに団体登録している
ので、会員の皆様は、どなたでもご参加できます。但し、もりふれ倶楽部事務局
を通してお申込み下さい。島根県森林インストラクターの皆様は直接、サポ
ートセンター050-3533-1695へ申し込まれてもかまいません。

9月17日(土)9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。
森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

参加者募集中:参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

9月18日(日)10時～15時 県民の森里山の憩い講座 第3回 集合:県民の森木工室

秋の自然の恵みでおいしい憩いの1日を過ごす～秋の散策、里山アート、ドラ
ム缶ピザ、和紙作り

参加者募集中:参加費500円 定員20名(申し込み順)

9月24日(土)10時～12時 樹木医による樹木診断研修 参加費無料

会場は、楽山公園(テニスコート下駐車場集合)です。

参加者募集中:参加費 無料 定員30名(申し込み順)

同日、以下も開催されます!

13時30分～15時30分 樹木医養成講座(座学)

場所 松江市川津公民館～樹木医とは?どうすればなれるの?

NPOしまね樹木医会の樹木医が講師となり活動報告や技術の紹介を
行います。また樹木医受験対策についてもお話しします。

こちら、もりふれ倶楽部事務局で参加申し込みを受け付けます。

10月2日(日)10時～15時 第6回 里山自然塾「秋の里山でキノコ狩り!」

参加者募集中:参加費500円 場所:ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食 定員30名(申し込み順)

10月8日(土)10時～15時

「森林ボランティア1日限りの作業班:出雲郷幼稚園うぐいす山地拵え」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・手鋸等持参ください。
集合場所～出雲郷幼稚園
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

10月10日(月)10時～15時

「森林ボランティア1日限りの作業班：飯南町立来島小学校学校林広葉樹林下刈り」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・刈り払い機・手鎌等持参ください。
集合場所～飯南町立来島小学校駐車場
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

10月15日(土)10時～15時

「森林ボランティア1日限りの作業班：来島小学校学校林間伐・枝打ち・ホダ木用木伐倒」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・手鋸等持参ください。
集合場所～飯南町立来島小学校駐車場
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

10月16日(日)10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：楽山公園 竹林整備

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等持参ください。
午後からまつえ環境市民会議のメンバーが合流します。
最後は、米粉ケーキでお茶会をします。
集合場所～楽山公園テニスコート駐車場
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

10月22日(土)10時～15時

「森林ボランティア1日限りの作業班：出雲郷幼稚園うぐいす山地拵え」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・手鋸等持参ください。
集合場所～出雲郷幼稚園
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給し

ます。場所のわからない方はご相談ください。

10月23日(日) 9時30分～12時30分 松江市楽山公園
「楽山公園 秋の自然観察会と竹細工の広場、そして究極の焼き芋」

参加者募集中

内容：・竹が整備されすっきりとした楽山公園で自然観察会
・竹食器など、指導者付きで色々作れる竹細工の広場の開催
・無煙炭化器で究極の焼き芋を提供します。」

集合場所：楽山公園テニスコート駐車場集合 参加費：無料 但し事前申し込みが必要
定員：30名(申し込み順定員で締切) 小学生以下は保護者同伴

10月29日(土)10時～30日(日)15時 『そば打ち交流会』
もりふれ倶楽部会員有志による、そば打ち交流会を下記の内容で開催します。
ご希望の方は、事務局までお申し込みください。

世話人 野々村俊成、中村正志

内容 29日 ペール缶を使ったロケットコンロ作り
ヤマボクチをつなぎにしたそば打ち交流会

30日 竹筒ご飯完全マスター他

29日の昼食は、各自ご用意ください。

定員 8名程度先着順(コテージ宿泊者)

ただし、29日のそば打ちまで参加の方、30日の竹筒ご飯完全マスター参加のみの方はできる限り受け付けます。

参加費 29日のみで宿泊なし(交流会なし) 1,000円(そばは食べられます)

29日、30日参加で宿泊なし 2,000円

全日程参加 6,000円程度

その他の参加日程の方も相談します

参加申し込みの方には、おって材料などの準備品の資料を送付します。

このイベントに関する問い合わせ先 09073713416 中村正志

11月3日(木)10時～15時 「森林ボランティア1日限りの作業班：雲南市立西小学校い
わくまの森遊歩道と広場整備」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘル
メット・チェーンソー・手鋸・手鎌等持参ください。

集合場所～雲南市立西小学校駐車場

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給し
ます。場所のわからない方はご相談ください。

11月19日(土)10時～15時

「森林ボランティア1日限りの作業班：来島小学校学校林・ホダ木づくり」

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘル

メット・チェーンソー・手鋸等持参ください。

集合場所～飯南町立来島小学校駐車場

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

11月20日(日)10時～15時 県民の森里山の憩い講座 第4回 集合：県民の森木工室
晩秋、冬眼前の森で火と憩いの1日を過ごす～紅葉の散策、棒焼きパン、究極の焼き芋、シイタケ植菌(1人1本持ち帰れます)

参加者募集中：参加費500円 定員20名(申し込み順)

11月23日(水)10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：楽山公園 竹林整備

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方は、ヘルメット・チェーンソー・鋸等持参ください。午後からまつえ環境市民会議のメンバーが合流します。最後は、究極の焼き芋でお茶会をします。

集合場所～楽山公園テニスコート駐車場

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

11月27日(日)13時～15時 今年の森林整備の成果を巡る自然散策会

参加者募集中：参加費無料

集合場所～楽山公園テニスコート駐車場

前日正午まで申し込お受けします。



今年は、学校林整備に力を入れています！あなたも是非！

森林ボランティア活動をしてみませんか！

もりふれ倶楽部会報

NO. 49

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>